

笑

四年 画数 10

筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉
オン シヨウ
ワラハルウ・エイビ

成り立ち



もとの字は「咲」でした。人が首をかしげた形を表したチャーミングな女の意味の「天」と、しなやかな竹の意味を表した「竹」と、「口」とを組み合わせて作った字です。

「しなやかでチャーミングな女の人」が「ほほえむ」ことを表した字です。やさしく「ほほえむ」ことを表した字ですが、今では、「大笑いする」ことにも使います。

むかしは笑うことを「えむ」と言いました。

「えがお」は「笑む顔」という意味です。

使い方

▽きれいな女の人。が微笑。すると、もつときれいに見えます。動物は笑いません。やさしい微笑は神様が人間にくれた一番すてきなおくりものだと思います。

▽おとうさんに「白髪がふえましたね」と言ったら、おとうさんは苦笑していました。悪いことを言ってしまったなと後悔しましたが、後の祭でした。

熟語例

▽微笑 (ほほえむこと。)

▽苦笑 (苦しい。ぐあいの悪い時に、それをごまかしたりするための笑いです。)

▽大笑 (大笑い。大きな声で笑うこと。「その冗談に、みんな何々大笑した」などというふうには、つかいませぬ。)

▽失笑 (おかしくて、つい笑ってしまふこと。本人はまともなことを言ったつもりなのに、それを聞いた人にはおかしく思えてつい笑ってしまふこと。「知ったかぶりをして他人の失笑を買う」などと、つかいませぬ。)

▽談笑 (うちとけて、話したり笑ったりすること。「仲の良い友だちと談笑しているうちに、つい時のすぎるのも忘れてしまった」などというふうには、つかいませぬ。)

唱

四年 画数 11

筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊
オン シヨウ
となりえる

成り立ち



「日の光」のとても明るいことを表した「昌」と、声を出す意味の「口」とを組み合わせて作った字です。

「口から明るい声を出す」ことを表した字です。はっきりとした声で、お経などを「となえる」ことや、よい声で、歌などを「うたう」という意味に使います。例唱名、唱経、唱歌、合唱。

「昌は、日と曰(言う)」との会意字で、「明らかに曰う」という意味の字で、今の「唱」の意味の字であり、「唱」の本字である。「昌」が「明」の意味に使われるようになったため、「口」を加えて「唱」という字を作ったものである。」

使い方

▽アレンジが「開けゴマ」と、呪文を唱えると、山はポツカリと口を開けました。

▽わたしは、みんなの前で詩を暗唱したことがあります。うまくやれるかどうかと、ドキドキしたので、口の中心で三回おまじないを唱えました。すると、気分が少しおちついて、何とか暗唱できました。

熟語例

▽唱名 (仏様の名前を唱えること。「南無阿彌陀仏」など。漢音ではなく、呉音で「シヨウミヨウ」と読みます。)

▽唱経 (声を出して、経文を読むこと。お経を唱えること。「おごそかな唱経が響いて来た」などというふうには、つかいませぬ。)

▽唱歌 (歌をうたうこと。また、むかし、小学校で教えた歌のこと。「今は、唱歌の授業は無くなって、唱歌を知っている子供も少なくなつたが、さびしいことだ」などというふうには、つかいませぬ。)

▽合唱 (みんなで声を合わせて歌うこと。)

▽独唱 (ひとり歌うこと。)